

竹富町海洋教育実践記録シート

学校名		竹富町立上原小学校	教科	総合、特活、生活
			関連教科	理科、家庭科、音楽
対象学年（人数）		全学年（90名）	時間数	4時間 3～6年：総合3、特活1 1～2年：生活3、特活1
テーマ		魚まき集会		
内容	目的	<ul style="list-style-type: none"> ・自然に親しみ、驚きや感動を持つ中で学習課題を持たせるようにする。 ・自然の恩恵を受けることによって、自然と関わっているということを実感させ自然を残そうとする心を育てる。 ・西表近海に生息する魚の名前や特徴を知る。 		
	進め方	開会式→魚とり開始→学校で魚の学習、調理、食事→解散式		
	日時	令和元年5月18日		
	場所	・魚とり（ゲー夕川） ・魚の学習、調理、食事（学校）		
	行程	9：00 現地集合 9：30～ 開始式 10：00～11：45 魚とり開始 12：00～ 学校へ向けて出発 12：30～ 魚の学習、調理 13：10～ 昼食 14：00～ 片付け 14：20～ 解散式 14：40～ 下校		
	準備物	包丁、まな板、水切り、ざる、あみじゃく、ボール（大）ポリ容器、かごたも、うろこかき、じょうご、クーラーボックス、ゴミ袋、ブルーシート シンメー鍋、魚の名前カード、非常用ベル、長テーブル、ハンドマイク カラーコーン、テント、ごとか、救急箱、AED、ガス釜、水タンク等		
	外部連携	・網掛け（井本 由五郎さん）		
活動の成果		<ul style="list-style-type: none"> ・事前作業で、魚のさばき方（5・6年）や海の危険生物についての話（全学年）、網修理（3～6年）を通して身近な海のことや漁についての関心が高まった。 ・捕った魚の学習を通して、魚に関する知識が深まった。 ・自分達で捕ってきた魚を調理（1・2年はうろことり、3・4年は内臓とり、5・6年は三枚おろし）することで、海の恩恵に感謝しながら食事をし、乱獲せずに自然と共に生活していこうとする意識を高めることができた。 		

竹富町海洋教育実践記録シート

学校名		上原学校	教科	学活1・保健安全1
			関連教科	
対象学年(人数)		全校児童 90名	時間数	2時間
テーマ		自然災害と向き合おう(防災学習)		
内容	目的	地震が発生した場合に児童が安全に避難できるように、地震・津波時における基本行動を身につけさせる。		
	進め方	避難訓練当日に向けて、各学級で事前学習(DVDの視聴・ワークシートを使っての学習)を行う。 当日は10:00に沖縄県全域で強い地震が観測され、大津波警報が発表されたことを想定して訓練を行う。教室での初期対応を行った後、第二次避難場所へ避難を開始する。全員の安否が確認できた後に全体会を行う。 事後指導は各学級に戻り、ワークシートを書きながら振り返りを行う。		
	日時	11月5日(火) 2校時		
	場所	教室・本校の第二次避難場所		
	行程	【事前指導】 ①DVD視聴「津波からにげる」 ②パワーポイントによる事前学習 (地震時の対応・避難経路・避難時の合い言葉) 【訓練当日】 ①初期対応(教室での授業中を想定) ②大津波警報が発令(避難への準備をする→防災頭巾・防災バック) ③第二次避難場所への避難を開始 ④全体会 【事後指導】 ①各学級でワークシート記入しながら振り返りを行う。		
	準備物	【事前指導】 DVD「津波からにげる」・パワーポイント「自然災害と向き合おう」 ワークシート 【避難当日】 ストップウォッチ・拡声器・防災頭巾・防災バック 【事後指導】 ワークシート		
外部連携	・上原地区消防分団			
活動の成果		・事前指導を充実させたことで地震・津波の恐ろしさを感じ、正しい避難の仕方もきちんと学ぶことができた。そのことが避難訓練当日の児童の様子か		

らもうかがうことができた。

・避難訓練は学校だけでなく、幼稚園・保育所・地域と合同で行い、合同防災連絡会も事前と事後に行ったことによって地域全体としての成果や課題も共有することができた。

・振り返り学習も訓練終了後すぐに行うことで、一人一人が避難訓練を振り返ることができ、また全体でも共有しあうことで防災意識も高まった。